株式会社大洋アレスコ（冷熱機器製造・冷熱設備工事業）

TAIYO ALESCO
株式会社大洋アレスコ



焼津西小川本社(2017年完成)

〇本社所在地：静岡県焼津市
〇事業概要：冷蔵空調設備, 食品冷却装置, 冷水機, 製氷機, EMSの開発･施工･管理
※EMS＝省エネ監視システム
〇常時使用する従業員：２９名
（2026年10月時点）
〇現在の売上高：２１億円
（2026年3月期）
〇法人番号：9080001014974
〇Web：https://taiyoalesco.jp/

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役
村松 孝保

冷熱の力で、社会の可能性を開く

当社は1961年の創業以来65年にわたり、「感謝の気持ち」を経営理念の根幹に据え、培ってきた冷熱技術を駆使して食品工場をはじめとするお客様の「冷やす」現場を支えてきました。今後は独自のプレート技術を核とする自社製品メーカーへの進化を一層加速し、省エネルギーと食の安全・品質向上に貢献するとともに、災害時にも「冷やす」を止めない冷熱ライフラインなど、地域社会に貢献できる製品開発を進めます。
100億企業への成長を通じて、仲間である社員一人ひとりが自信と誇りを持てる会社をつくり、待遇の向上を実現します。そして、当社の冷熱技術が、未来を変え、社会に笑顔を創り上げてゆく。その想いで進めてゆきます。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

2037年に売上高100億円を達成する。
全社で年率約18%、自社製品は年率25%の成長を目指す。



課題

- 受注拡大に対応する生産能力の増強
- 開発・設計・製造を担う人材の確保と育成
- 自社製品の認知度向上と全国販売網の構築
- デモ機の実演・試験環境の整備による提案力の強化

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

- 焼津市小川地区に組立･開発の新工場「COOL LAB」を建設
※開発デモ･技術展示館(冷技館)を併設(2028年竣工予定)
- 既存工場をプレート製作に特化し、自社製品の生産能力を増強
- 当社基幹製品である冷水機･製氷機･氷蓄熱機を食品･水産加工業界のほか、新市場(化学, 染色, IC産業など)含め、全国へ展開
- 厚氷(50～100mm)技術を生かし、既存技術との組合せにより災害時の「冷熱ライフライン」を自治体と実証・事業化
- 商社･販売代理店網を強化
⇒ 将来は海外展開や食品加工機メーカーのM&Aも検討

実施体制

- 社長直轄で新製品開発PJをこれまで通り継続的に立ち上げ
※冷熱ライフラインPJは組成済み　※PJ=プロジェクトの略
- 新工場は専務が統括し、品質管理部門･設計部門を新設
- 技術･経営･IT等のシニア専門家6名を顧問･参与として配置し、構想･基本設計力や実施レベルでの開発設計力を強化
- 外部専門家と連携した採用･育成強化で各部門2名を増員
- AI活用で業務推進力の強化および事務業務の効率化

※本宣言は企業自身がその責任において売上高１００億円を目指して、自社の取組を進める旨を宣言するものです